



# Training by Request

An **OVC** Program

## Sexual Assault Advocate/Counselor Training

# Welcome

性暴力対応  
アドボケイト・カウンセラー  
トレーニング マニュアル





# Training by Request

An OVC Program

## Module 1 Introductions and Overview

モジュール 1

はじめに



**OVCTTAC**  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

## 学習目標

sexual assault, sexual violence, rape, sexual abuse, victim, survivor について、いつどの言葉を用いるべきかを考えるトレーニング

# 参加者の自己紹介

- お名前
- 性暴力被害者、サバイバーを支援した経験があるかどうか
- この仕事をする動機はなにか
- このトレーニングでぜひ学びたいと思っていること

## トレーニングのゴール

性暴力被害者、サバイバーを支援するアドボケイト・  
カウンセラーに、適切で有効な危機介入サービスを  
提供するために必要なスキルを提供します

## 参加者の方々へ

- トイレ、休憩の確認
- 携帯は電源を切るか、マナーモードに
- 研修資料

## 基本的なルール

- ・時間を厳守し、すべてのトレーニングに出席します
- ・他の参加者、インストラクターを尊重します
- ・各アクティビティに全力で参加します
- ・質問をしたり、シナリオを作ったり、意見を出し合うことで学びを深めます
- ・携帯をオフにするか、マナーモードにします

# SheとHeの使い方

- 中性複数代名詞をできる限り使います
  - they あるいは them
- 大多数の被害者が女性であるため、被害者について言及する時は女性名詞を使います



# 定義

- 性に関連した犯罪の定義は多様です
- 定義は連邦機関でも州によっても異なります
- 性暴力 (sexual assault) は一連の行為を含んだ幅の広い言葉です
- 基本的にこのトレーニングでは *性暴力 (sexual assault)* という言葉を使いますが、*レイプ* や *性的暴行 (sexual violence)* などの言葉を使うこともあります

# 被害者とサバイバー

被害者からサバイバーへ呼び方をいつ変えるかは個人が決めます。このトレーニングでは以下のようにします

- ・救急外来の対応では“性暴力の被害者”が使われます
- ・被害者にとって真のゴールであることを理解するために、回復の後期には“サバイバー”が使われます

## 復習

sexual assault, sexual violence, rape, sexual abuse, victim, survivor について、いつどの言葉を用いるべきかを考えるトレーニングです

モジュール1の最後に 質問やご意見は？





# Training by Request

An OVC Program

## Module 2

# What Is Sexual Assault Advocacy/Counseling?

モジュール 2

性暴力対応アド  
ボカシー/  
カウンセリングと  
は？



**OVC TTAC**  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

# 学習目標

- SARTの構成について説明する
- アドボケイトの主な役割を確認する
- 州が定める法律に基づき守秘について適切な決定をする

## アドボカシーの信条

- ・選択肢についての情報を提供します
- ・トラウマに特化した対応をします
- ・傾聴し、被害者を信じます
- ・根掘り葉掘り聞いたり、裁いたりしません
- ・チームワークを重んじます

## SARTsとSANEs

SART(Sexual Assault Response Teams)と  
SANE(Sexual Assault Nurse Examiners)について、  
どんなことを知っていますか？



## SART(性暴力対応チーム)

- ・レイプ被害者と関わる様々な機関に所属する個人からなるグループです
- ・効果的なモデルです
- ・危機介入と長期間のカウンセリングを行います
- ・調査と証拠収集を行います
- ・被害者へのより細やかな医療的対応を行います

## 様々な人や機関で成り立つSART

- ・最小限でも、SARTにはレイプ危機介入アドボケイト、性暴力被害者支援看護職(SANE)、警察官、検察官、科捜研の専門家が含まれます
- ・DV被害者対応アドボケイト、聖職者、社会福祉機関の職員が含まれることもあります

## SANE(性暴力被害者支援看護職)

- ・SARTに参加している医療専門家
- ・特別に訓練された看護師
- ・レイプ被害者の医学的司法検査を行うための訓練を受けている人
- ・質の高い証拠採取と細やかな初期医療対応ができる人

## SANEの必要性

- ・被害者は診察を受けるのに長時間待たされます
- ・待たされる間、飲食やトイレもできません
- ・医療者の訓練は不十分です
- ・証拠採取が不適切な場合もあります
- ・適切な検査には時間がかかります
- ・医療者は法廷に呼び出されるのを嫌がります

## チームワーク

- ・レイプクライシスセンター、アドボカシー、専門のトレーニング、チームワークの4つがレイプ被害者への支援の質を大幅に高めてきました
- ・チームワークで大切なことは、それぞれの役割を明確にすること、それぞれの役割を尊重することです

## アドボケイトの役割

- 緊急の電話相談
- 医学的証拠検査への対応
- 警察の事情聴取への付き添い
- 法廷への付き添い
- 家族や友人などへの支持的カウンセリング

# アドボケイトの役割

- 危機介入
- 個別の継続的な支持的カウンセリング
- サポートグループの運営

## 守秘義務

- 被害者情報の守秘は被害者の権利です
- その権利を尊重されることで被害者は自身の尊厳を取り戻すことができます
- 守秘義務により被害者情報が安全に守られます



# 守秘義務

アドボケイトとSANEでは守秘義務の扱いが異なります

- ・多くの州のレイプクライシスセンターはアドボケイトが法廷に呼びだされないよう法制化するためにロビー活動を行ってきました。アドボケイトは守秘の主権が被害者にあることを知らなければなりません
- ・SANEは被害者の発言が全て証拠として採用されうることを予測して対応します  
守秘義務には限界があることを被害者にも確認しておきます

# やってみましょう

## 法律の確認

ワークシート2.1、注釈AおよびBを参照

- 注釈を確認する：
  - VAWA 2005、VAWA 2013、Forensic Compliance  
の背景
  - HIPAA Privacy Guideline と Sexual Assault Crisis Centers
- ワークシートを完成させましょう

## 守秘義務を保つとは

- メディアに話さない
- 同僚と話す時に被害者の名前を出さない
- 家族にもケースの話をしてしない
- エレベーターや公共の場でケースの話をしてしない
- 研修に実際のケースの詳細を用いない

## 復習

- ・SARTの構成について説明する
- ・アドボケイトの主な役割を確認する
- ・州が定める法律に基づき守秘について適切な決定をする

モジュール2の最後に 質問やご意見は？





# Training by Request

An OVC Program

## Module 3 Realities of Sexual Assault

モジュール 3

性暴力の実態



**OVC TTAC**  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

## 学習目標

- ・米国国内での性暴力の発生率と広がりについて少なくとも2つの質問に正確に答える
- ・性暴力の届出が少ない要因を少なくとも1つ明らかにする
- ・レイプと性暴力についての神話と事実を少なくとも2つあげる

# 性暴力

アメリカでの性暴力の発生率と広がりについて  
どのくらい知っていますか？



やってみましょう

ワークシート3. 1を参照



質問： 2011年にレイプや性暴力にあった12歳以上の  
被害者はおよそ何人ですか？

A 57,000

B 102,000

C 188,000

D 243,800

質問： 2011年にレイプや性暴力にあった12歳以上の  
被害者はおよそ何人ですか？

- A 57,000
- B 102,000
- C 188,000
- D 243,800

質問： 2011年、レイプや性暴力の被害者の何パーセント  
が女性でしたか？

A 55%

B 67%

C 86%

D 97%

質問： 2011年、レイプや性暴力の被害者の何パーセント  
が女性でしたか？

A 55%

B 67%

C 86%

D 97%

質問： 2011年、女性のレイプや性暴力被害者のうち  
何パーセントが見知らぬ人から暴行されましたか？

A 12%

B 28%

C 36%

D 55%

質問： 2011年、女性のレイプや性暴力被害者のうち  
何パーセントが見知らぬ人から暴行されましたか？

A 12%

B 28%

C 36%

D 55%

質問： 2011年に発生したレイプと性暴力のうち  
何パーセントが警察に届けられましたか？

- A 15%
- B 27%
- C 48%
- D 70%



質問： 2011年に発生したレイプと性暴力のうち  
何パーセントが警察に届けられましたか？

A 15%

B 27%

C 48%

D 70%

質問： 2011年に警察に届けられた暴力犯罪のうち、  
暴力を伴ったレイプは何パーセントでしたか？

- A 3%
- B 7%
- C 12%
- D 18%

質問： 2011年に警察に届けられた暴力犯罪のうち、  
暴力を伴ったレイプは何パーセントでしたか？

A 3%

B 7%

C 12%

D 18%

質問： アメリカ国防省は2012年に軍における性暴力のレポートを発表しました。この年、何件の性暴力が軍関係者から届出されましたか？

- A 573
- B 1,802
- C 3,374
- D 10,575

質問： アメリカ国防省は2012年に軍における性暴力のレポートを発表しました。この年、何件の性暴力が軍関係者から届出されましたか？

A 573

B 1,802

C 3,374

D 10,575

質問： 2011年に届出のあった暴力を伴うレイプ事件のうち何パーセントが警察によって処理されましたか？

A 21%

B 33%

C 41%

D 50%

質問：2011年に届出のあった暴力を伴うレイプ事件のうち何パーセントが警察によって処理されましたか？

A 21%

B 33%

C 41%

D 50%

# やってみましょう

神話それとも事実？

ワークシート3.2を参照

- ・ワークシートを見ないで、レイプや性暴力についての神話か事実かを各カードに書いてください
- ・そのカードを神話か事実の欄に貼り付けてください
- ・ワークシートを参照してください



神話:

レイプはほとんど見知らぬ人による犯行だ

神話:

レイプはほとんど見知らぬ人による犯行だ

事実:

被害者はむしろ知り合いによってレイプされる  
傾向があります

神話:

ペニス(男性器)の挿入がなければ、レイプではない

神話:

ペニス(男性器)の挿入がなければ、レイプではない

事実:

性暴力の定義は州によって異なります

このトレーニングの目的から言えば、レイプとは被害者の同意なく体の一部分や物を、どんなにわずかであっても膣、肛門に挿入すること、あるいは性器を口に挿入することを意味します

神話:

人々は配偶者、パートナーからレイプされることはない

神話:

人々は配偶者、パートナーからレイプされることはない

事実:

人々は配偶者やパートナーからもレイプされます

神話:

売春する人はレイプされない

神話:

売春する人はレイプされない

事実:

売春する人もレイプされる可能性がありますし、  
しばしば客や売春あっせん業者からレイプされます



神話:

子どもを性的虐待するのはすべていやらしい  
おじさんだ

神話:

子どもを性的虐待者するのはすべていやらしい  
おじさんだ

事実:

加害者は少年少女や30歳前の若い青年であること  
が多いです

(Douglas and Finkelhor 2005)

神話:

子どもにとって一番怖いのは、見知らぬ人だ

神話:

子どもにとって一番怖いのは、見知らぬ人だ

事実:

研究では、子どもの被害の25%は家族からのものであり、60%は子どもが知っている人からのものでした。見知らぬ人からの被害はたったの14%です

(Snyder 2000)

神話:

レイプは若い女性にしか起こらない

神話：

レイプは若い女性にしか起こらない

事実：

年配の人がレイプされることがありますし、事実  
されています

神話:

レイプは同性間では起こらない

神話:

レイプは同性間では起こらない

事実:

レイプは、異性間と同様に、同性間でも起こることがあります



神話:

男性はレイプされない

神話：

男性はレイプされない

事実：

警察への届出はより少ないですが、男性も他の男性あるいは女性からレイプされうるし、されています

神話：

女性が男性と酒を飲み、その男性と一緒に家に帰ったり、露出の多い服を着ていたりした場合、レイプされてもそれは彼女のせいだ

神話:

女性が男性と酒を飲み、その男性と一緒に家に帰ったり、露出の多い服を着たりしていた場合、レイプされてもそれは彼女のせいだ

事実:

断じて彼女に落ち度はありません。誰一人レイプを望むことはないし、レイプされてもしかたがない人などいません。レイプは暴力的攻撃であり、被害者をコントロールしようとする犯罪行為なのです

## 復習

- ・米国国内での性暴力の発生率と広がりについて少なくとも2つの質問に正確に答える
- ・性暴力の届出が少ない要因を少なくとも1つ明らかにする
- ・レイプと性暴力についての神話と事実を少なくとも2つあげる

モジュール3の最後に 質問やご意見は？





**Training  
by Request**

An OVC Program

**Module 4  
The Neurobiology of  
Trauma and  
Sexual Assault**

**モジュール4**

**トラウマ神経  
生物学と性暴力**



**OVCCTAC**  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

# 学習目標

- ・トラウマに関連する脳の基本的構成要素を述べる
- ・性暴力を受けている間やその後に脳が受ける一般的な影響を説明する
- ・トラウマ体験が被害者の行動にもたらす一般的な影響を理解する
- ・適切な時期に、被害者がトラウマ神経生物学を理解するように助ける





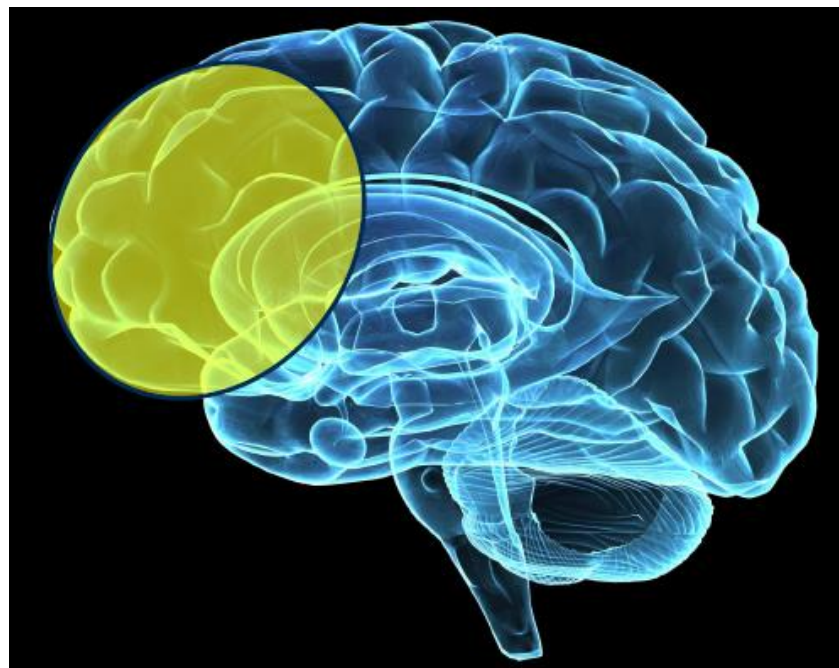
# 免責事項

科学知識、モデル、理論のすべてが受け入れられているわけではないので、メンタルヘルスの専門家、機関、組織の中にはトラウマの神経生物学的モデルを承認していないものもある

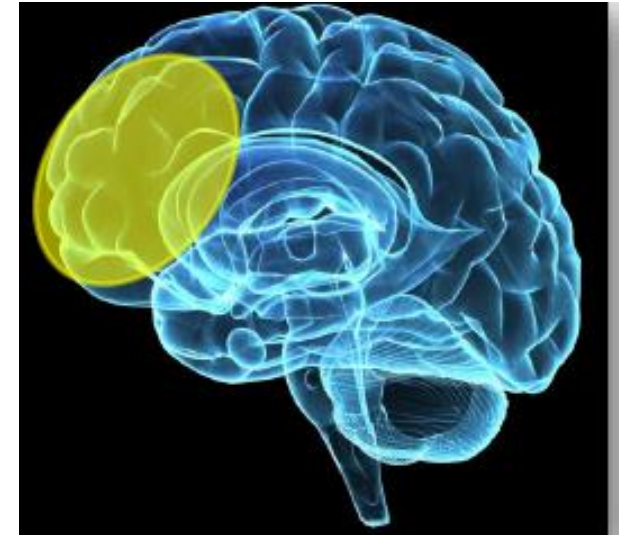
# 要旨

- ・脳の前頭前皮質
- ・トラウマに影響される脳の主要回路
- ・トラウマ状況に直面した時に起こる感情と脳の反応
- ・トラウマ的出来事と記憶
- ・神経生物学の知識が犯罪被害者をどのように支援できるか

# 前頭前皮質

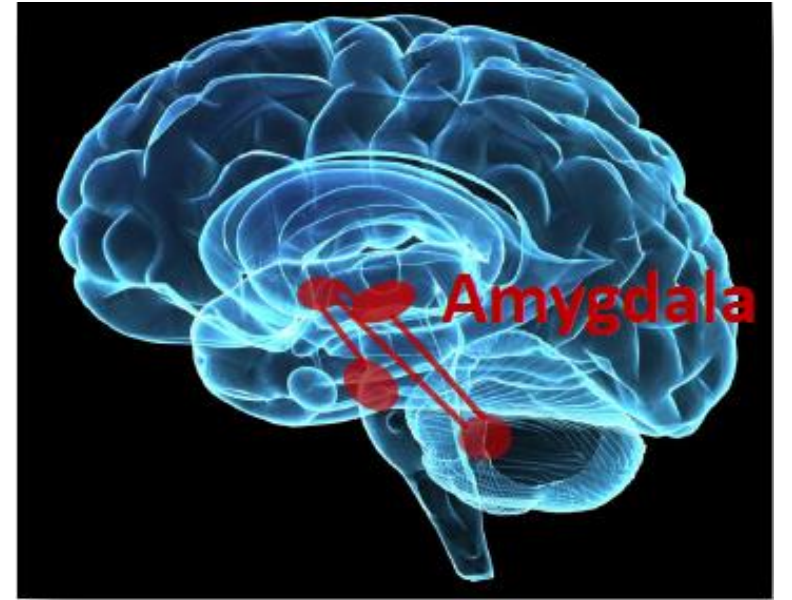


# 前頭前皮質



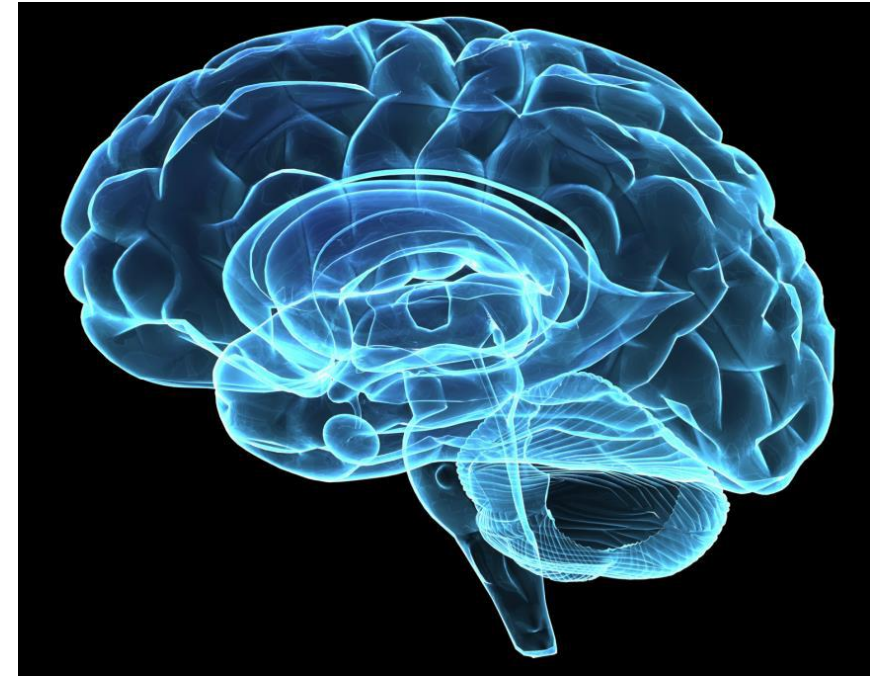
- 思考と記憶を保持する
- 感情を管理し、行動に反映することを助ける
- 他の脳の部分を管理することを助ける
- その人が選んだことに注意を集中させ、その人の目標や価値に一致するように選んだことを行わせる
- トラウマ状況では働きが損なわれる

## 恐怖の回路



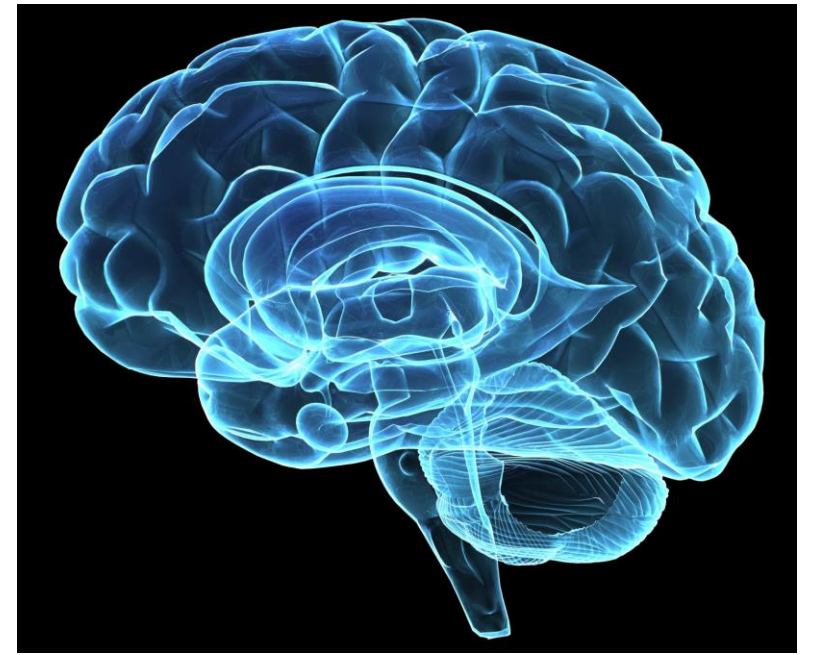
- ・トラウマやPTSDで大きな役割を果たす
- ・脳の多くの領域に存在する
- ・自動的に、ほとんど無意識に作動する

## 探索回路



- ・恐怖、不安、悲しみ、望まない体験からの逃避を求める
- ・一時しのぎの解決法は問題の解決にはならず、依存につながることもある
- ・被害者が自分の価値観を維持しようとすることを可能にする

## 充足回路



- 求めるものを手に入れた時に満足の感情を作り出す
- 安心、和らいだ感じ、他の人とつながっている感情の中核をなす
- 満足の感情やつながっている感情にかかわるオピオイド(麻薬的脳内物質)を作り出す

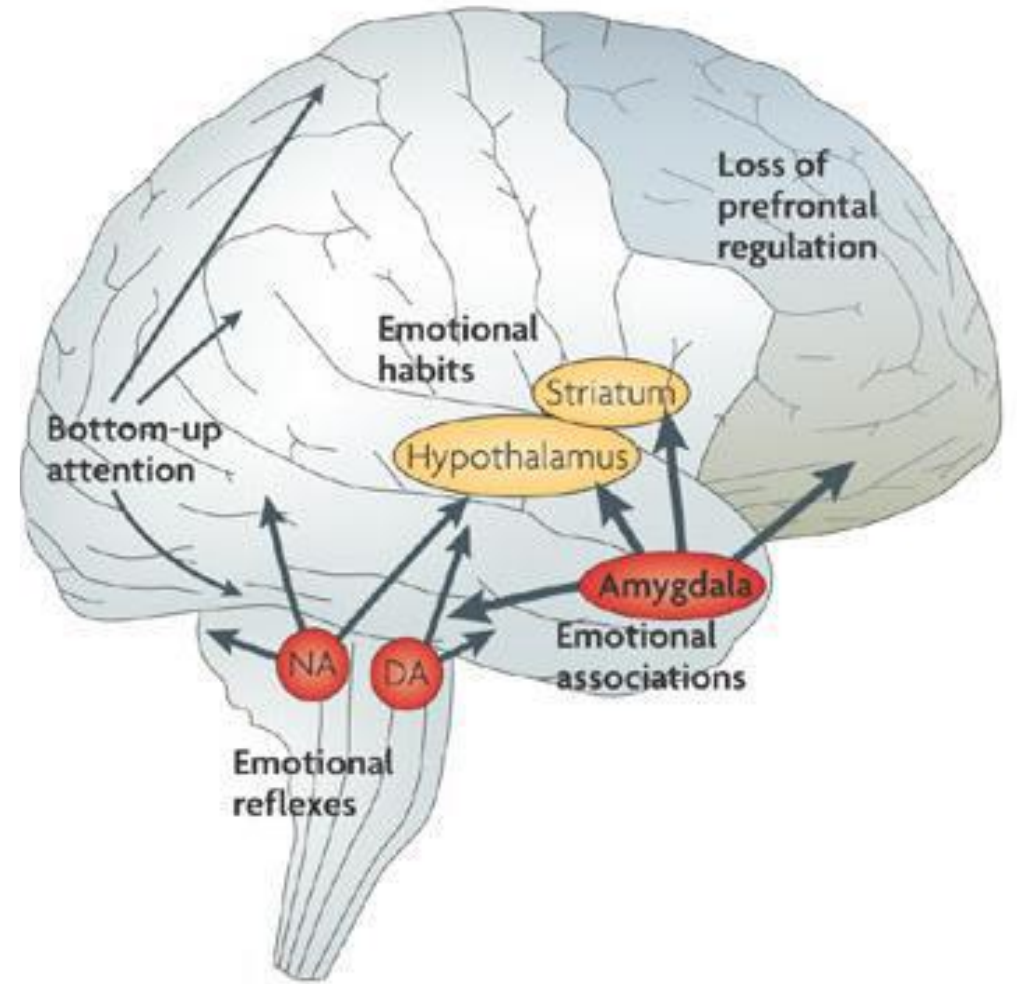


## 身体化回路



- 島皮質を含む
- あらゆる体内組織から感覚データを受ける
- ト라우マからの回復の鍵
- 私たちの体の中ではどんな感じかを教えてくれる

# トラウマ的状况:扁桃体支配



Source of diagram:  
Arnsten 2009, Nature Reviews Neuroscience, 410

## トラウマ(ハイストレス)的状況で

- 前頭葉前部の統制の損失: 脳幹からの化学物質が前頭葉前皮質の働きを損なう、あるいは止める
- ボトムアップの注意: 危険、脅威、あるいはサバイバルに必要として知覚されるあらゆるものに注意が自動的に向けられる
- 感情反射: 反射は自動的で、心臓がドキドキするような体の反応と同様な、固まる・逃げる・戦う反応を含む

# 扁桃体と注意



# 体のサバイバル反射

- ・瞳孔が広がる
- ・心拍が速くなる
- ・血圧の上昇
- ・筋肉の血流が増加
- ・呼吸数の増加



## 「戦うか、逃げるか(“Fight or Flight”)」は誤解

- ・脳はこのようには結合されていない
- ・まずフリーズ、それから逃げようとする
- ・他に選択肢がない場合のみ、戦いは逃げるための唯一の手段となる
- ・ほとんどの人が反撃しなかったことを恥じるので、性暴力被害者はこのことを理解しておくことが大切である

# 固まる (Freeze)、逃げるか、戦うか

## 固まる

- ・危険を感知した時のすばやい反応
- ・強い警戒
- ・動けない
- ・とっさの行動にうつる準備はある



## 劇的サバイバル反射

- 逃げることができない、あるいはできそうにない時に起きる
- 身体的に逃げることができない時に逃げて生き延びようとする
- 自動的なサバイバル反射



# 解離一劇的なサバイバル反射

それは静かで、ガラスを通して彼女を見ているよう  
だからそれは私に影響したり、触れたりもできない



## 解離一劇的なサバイバル反射



- ・被害者はボーツとして切り離され、自動操縦の下におかれていますように感じる
- ・これらは性虐待を受けた子供に一般的に見られる反応だが、誰にも起こりうることである

## 解離—劇的なサバイバル反射



これらは脳を基盤とした自動的なサバイバル反射であることを被害者に説明する

# 緊張性不動—劇的なサバイバル反射

- ・固まる＝警戒して動けないが、動くことはできる
- ・緊張性不動＝麻痺して、動くことも話すこともできない
- ・極度の恐怖、犯人との身体的接触、拘束、逃げ出せないことに気づいたことなどが原因となる
- ・およそ10～50%の被害者が緊張性不動を経験する



# 緊張性不動—劇的なサバイバル反射

- 突然の開始と終了
- 数秒から数時間続く
- 警戒心や記憶力を損なわない



# 緊張性不動—劇的なサバイバル反射



解離と重複することもあるし、以下を含むこともある

- ・震えや身震い
- ・筋肉の硬直
- ・寒気を感じる
- ・痛みの麻痺
- ・焦点のあわない凝視や断続的なまばたき

# 虚脱性不動一劇的サバイバル反射



心臓に多量の副交感神経が作用し、その結果.....

- ・急激な心拍数の減少と血圧の低下
- ・失神したり、眠くなったり、意識を失う
- ・筋緊張を失う

# 虚脱性不動一劇的サバイバル反射



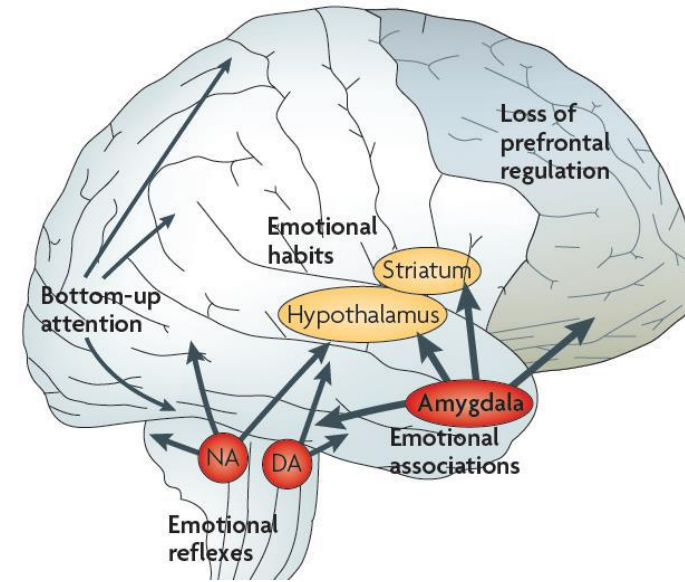
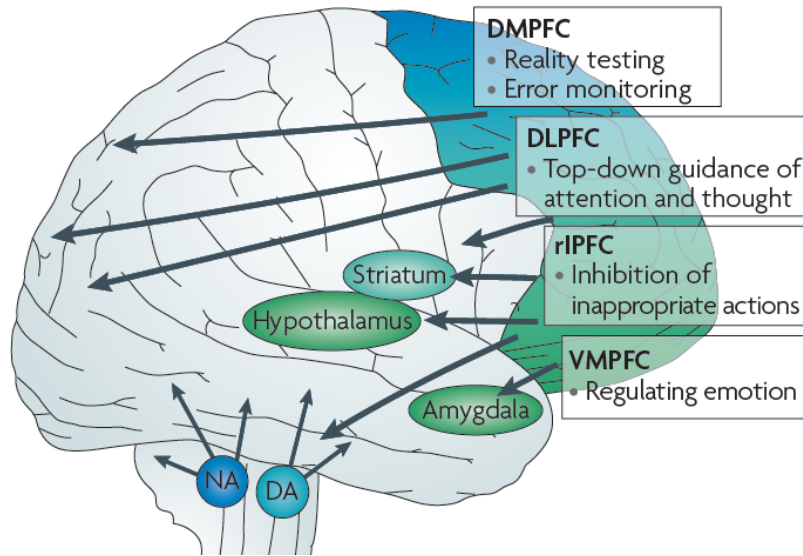
- 精神的挫折を伴うことが多い
- 血液、皮膚を穿刺することやナイフを見ることが引き金になりうる
- 女性に多い
- 被害者が恥る原因になりうる
- これらは正常な、脳の反応である



# 脳の反直感的行動

- ・抵抗しなかった
- ・逃げようとしなない
- ・叫び声をあげなかった
- ・”積極的な参加者”になる

# 多くの性暴力時の脳



## 加害者

- ・ストレスがかかっていない
- ・前頭前皮質が制御している
- ・思考と行動
- 計画的、馴れた、常習的

## 被害者

- ・おびえ、圧倒された
- ・恐怖回路が制御している
- ・加害者の行動で注意や思考が動かされている
- ・子どもの頃からの感情反射と習性に支配された行動(虐待を含む)

## やってみましょう (Activity)

応答シナリオのケーススタディ  
ワークシート4.1を参照

- ・グループで作業する
- ・ケーススタディを復習し、質問に答える
- ・全体に報告する

# トラウマ時の脳

- ・脳は高ストレス化学物質を出す
- ・活発な扁桃体の活動
- ・情動及び感覚的記憶を強力にコード化する
- ・言語野を含めた前頭前皮質が損なわれる

# トラウマ時の脳

## 海馬の働きが変化する

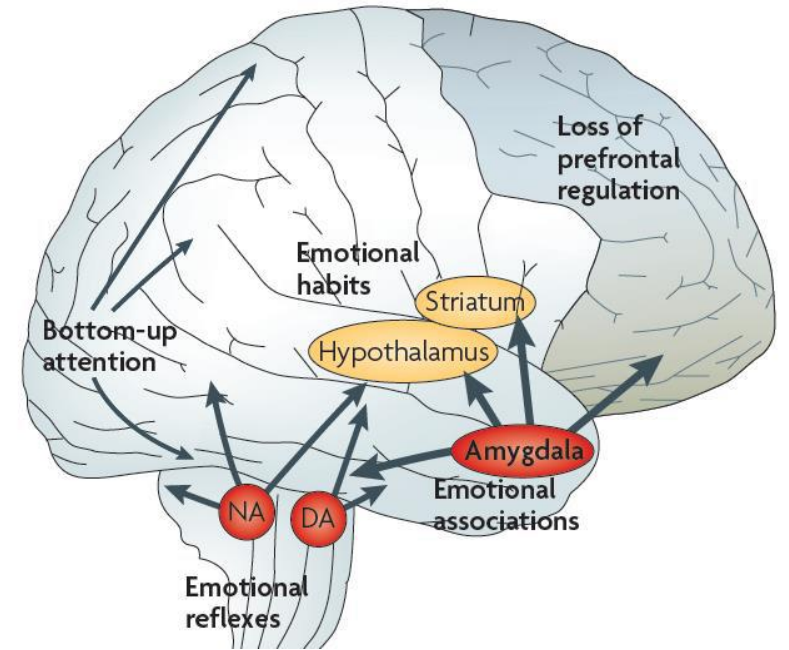
- ・要素と前後関係がひとつにまとまりにくい
- ・一連の出来事が不完全にコード化される
- ・しっかりコード化された感情の記憶、  
特に恐れや恐怖周辺の体験が出現する

## 注意、トラウマと記憶

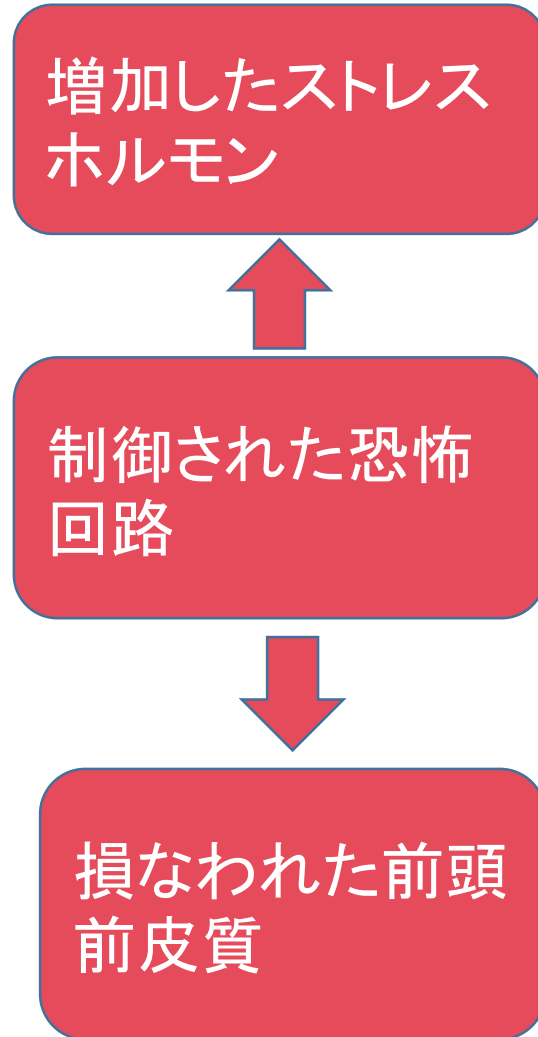
- ・ほとんどがボトムアップの注意
- ・恐怖回路は生存と対処にとって最も重要と思われるものに集中する
- ・中心的な細部はコード化される
- ・文脈情報より刺激情報のほうがより多くコード化される

# 記憶にコード化されるもの

- ・焼き付けられた体験の断片
- ・"記憶の島"
- ・周辺の細部はほとんどされない
- ・時系列の情報はほとんどあるいは全くされない
- ・言葉や物語はほとんどあるいは全くされない

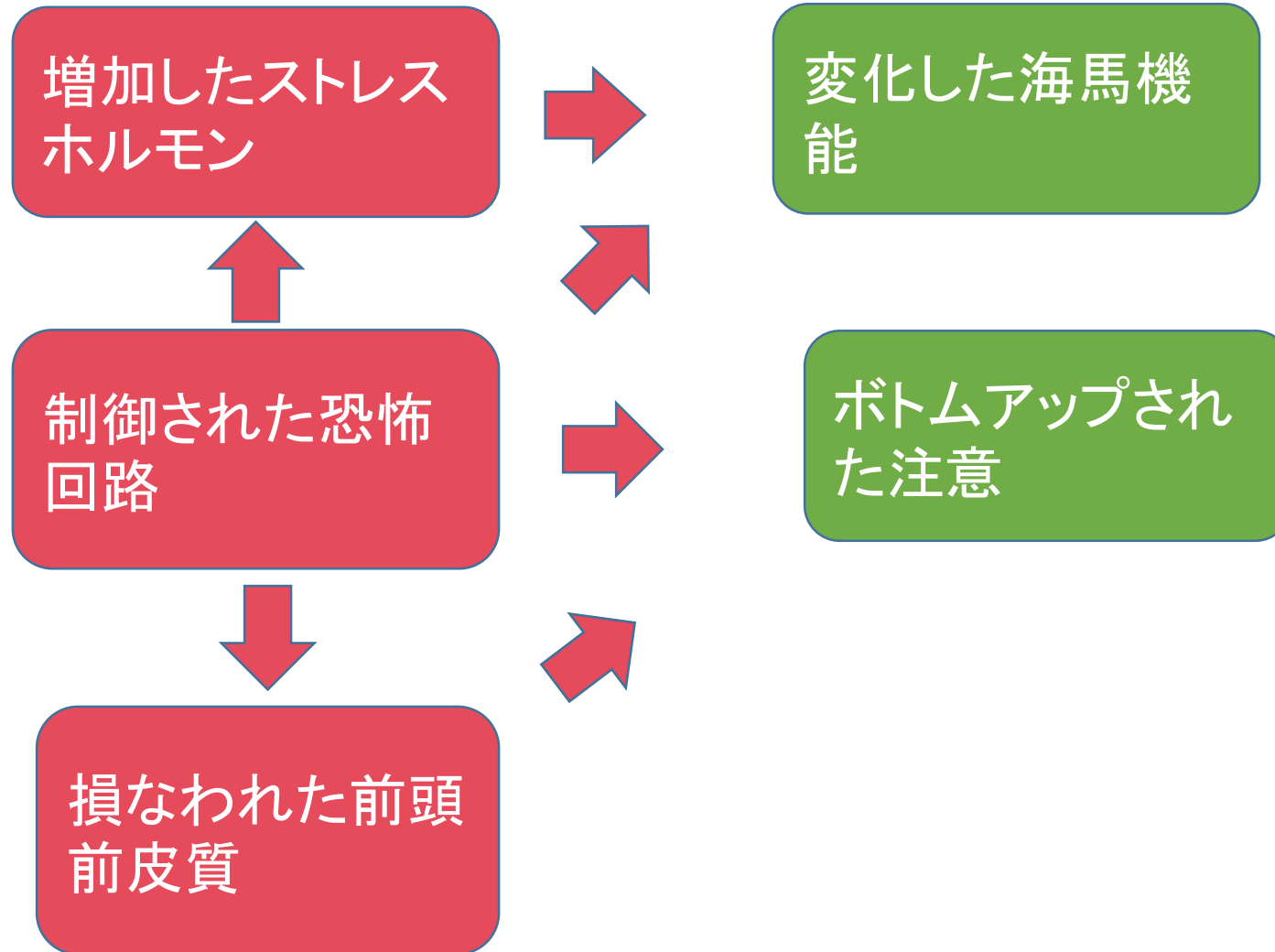


# 記憶にコード化されるもの

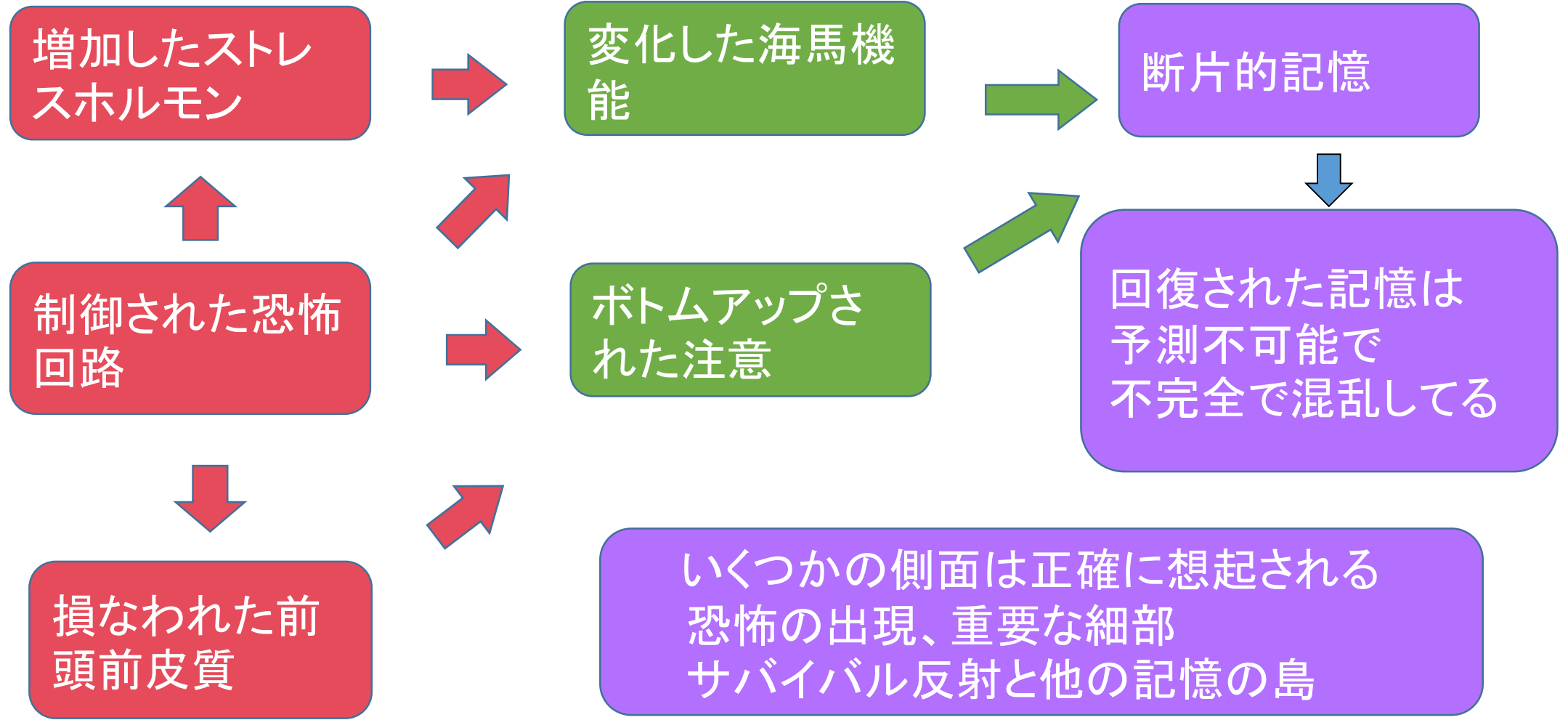




# 記憶にコード化されるもの



# 記憶にコード化されるもの



# "記憶の島"

- ・小さい島—断片的感覚
- ・大きい島—暴行時の主要な時間
- ・恐怖が始まる時、その直前直後
- ・サバイバル反射—同意がないことの指標
  - ・固まる
  - ・解離
  - ・緊張性不動
  - ・虚脱性不動



# アルコール、ドラッグと記憶

- 少量から中等量/中毒
  - 前後関係のコード化を損なう(海馬)
  - 感覚のコード化は損なわない
  - 恐怖/トラウマの影響に類似している
- 多量/中毒
  - 海馬を介して行われるコード化と、前後関係と感覚両者の統合を損なう
  - ブラックアウトして何もコード化されない

# 体験を思い出す

- ・回復し言語化できる感情を思い出そうとする時の脳の状態
- ・質問されるときに被害者が安心感を感じなければ、被害者は質問を理解し、ある記憶を想起するために海馬を使うことはできない
- ・被害者が質問されることでトラウマを感じるなら、それは暴力を受けたと同じくらい激しい断片的感覚と心の底辺におしこめられた感情が浮上するきっかけになる

# 体験を思い出す

- ・覚えておくこと  
サバイバーは暴力を受けている時も、後で思い出す時も  
解離を起こしているかもしれない
- ・あるいは、サバイバーは解離と感情的に混乱した記憶の間を  
行きつ戻りつするかもしれない  
例えば、面接や事情聴取から次のそうした機会  
までの間でも



# トラウマの引き金となる危険地帯としての生活



暴力の記憶



# よりよい理解のために

「被害者が安全、安心であると感じ、大事にされていると思えるように支援します」

アドボケイトは裁判所や検察官との面接で被害者に支援を提供する

被害者に対する共感、被害者へのエンパワメント

アドボケイトは被害者の身体的、心理的ニーズを把握できる

被害者は安心できれば、より協力的になり思い出しやすくなり、話したいと思うようになる



## やってみましょう (Activity)

どう答えますか？

ワークシート4.2を参照

- ・グループで作業しましょう
- ・ワークシートを復習し質問に答えます
- ・全体に報告します

# 復習

- ・トラウマに関連する脳の基本的構成要素を述べる
- ・性暴力を受けている間やその後に脳が受ける一般的な影響を説明する
- ・トラウマ体験が被害者の行動にもたらす一般的な影響を理解する
- ・適切な時期に、被害者がトラウマ神経生物学を理解するように助ける

モジュール4の最後に

質問やご意見は？





# Training by Request

An OVC Program

## Module 5 Impact of Sexual Assault

モジュール5

性暴力の影響



**OVC TTAC**  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

## 学習目標

- ・性被害の身体的、精神的影響について述べる
- ・性被害がパートナーや家族、親しい友人たちに与える影響について述べる

やってみましょう

— ブレインストーム —

性暴力の潜在的な身体への影響

参加者はテキストを見ないで、予想される身体的  
影響を挙げて下さい

## 性器以外の身体のケガ

- ・レイプに関連した身体のケガがどれくらいの頻度で起こるかを示すのは困難です
- ・レイプ被害者による自己防衛の行為のほとんどは更なるケガのリスクに大きな影響を与えることはありません
- ・見知らぬ加害者によるレイプの場合は更に一般的ではありません
- ・更なる調査が必要です

## 確認される性器のケガ

- ・生殖器に外傷を受ける割合は重大なものから無傷まで大きく異なります
- ・膣拡大鏡検査は、同意によるセックスか、同意のないセックスかを区別するのに役立ちます
- ・視覚化は患者が根拠に基づく医療(EBM)を受けるのに役立つ非常に重要なツールです



## 性感染症 (STIs)

- ・性感染症を心配するかしないかで、病院に行くか行かないかが分かります
- ・HIV感染のリスクは低いです
- ・HIV以外の病気に感染するリスクはかなり広がっています
- ・被害者が恐れではなくて、事実に基づいて決心するように伝えます

やってみましょう

グループワークシナリオ1  
ワークシート5.1を参照

STIシナリオ:

相談者は前の晩に性暴力を受け、HIV/AIDSを含む感染症  
について心配している

# 妊 娠

- ・実際のリスクは約5%です
- ・医療機関は緊急避妊薬を出します



## 全般的な健康リスク

- 性暴力は被害者の健康に直接かつ急激な影響を与えます
- 数年にわたって健康全般に重大で慢性的な影響をもたらします
- ストレスが免疫系を抑制するようです
- レイプ被害後、有害な行為や健康問題が時々起こります

## 性機能不全

性機能不全はよく見られる反応の1つで、往々にして慢性化しがちです。次のようなことが起こります

- ・性行為を避ける
- ・性的欲求の喪失、性行為を楽しめない
- ・性行為や月経時の痛み
- ・危険な性行動

## 薬物乱用

- ・酩酊していると、人は暴力に対して明らかにより脆弱になります
- ・性暴力を容易にするために最も頻繁に使用される薬物はアルコールです
- ・性被害の後、女性のサバイバーによるアルコールやドラッグの使用は著しく増加します
- ・性虐待は薬物乱用に一定の役割を果たしています
- ・レイプの被害者は薬物乱用の問題をさらに発展させがちです

やってみましょう(Activity)

ーブレインストームー

性暴力の潜在的な精神的影響について

参加者はテキストを見ないで、予想される精神的  
影響を挙げてください

# 不安

- ・レイプ被害者は被害に遭っていない者より不安が強い
- ・レイプ被害者の82%は全般性不安障害(GAD)の診断基準に該当します



# 恐怖

- 暴行されているときの最大の恐怖は、死の恐怖です
- 暴行された後、継続的、全般的な恐怖が起こります
- 暴力の脅威だけでも精神的破壊になり得ます

# 抑うつ

- 体重減少あるいは体重増加
- 睡眠障害
- 自己無価値感
- 楽しい活動への関心の減退
- 集中できない
- 抑うつ気分
- 自殺願望

## 自殺念慮研究

- 研究によれば、レイプ被害後の自殺念慮は重大な問題です
- 女性で自殺念慮のリスクが最も高いのは、若い人か、エスニックマイノリティーか、あるいはバイセクシュアルの被害者でした
- トラウマを抱えていたり、薬物を使用する被害者はより多くの自殺未遂を起こしました

## 自責と恥

- ・ ト라우マ後の罪悪感、自責や恥は性暴力を受けた後で一般的に見られる反応です
- ・ 恐怖のような感情はトラウマを受けている間に増加するかもしれませんが、恥や罪の意識、怒りや悲しみのような他の感情は、トラウマの後に増加しがちです

## 心的外傷後ストレス障害(PTSD)

「(直接的に、あるいは間接的に)自然災害、重大な事故、テロ行為、戦争/戦闘、あるいはレイプや他の暴力的な個人への攻撃のようなトラウマ的出来事を経験したり、目撃した人々に起こりうる精神疾患」

APA2014

( American Psychiatric Association  
米国精神医学会)

# PTSDの症状

- 侵入症状
- 思い出させるものの回避
- 否定的な思考や感情
- 覚醒や反応性症状

APA 2014

## PTSDの重症化

- ト라우マ歴、暴行の間に感じた生命の危機、自責の感情、回避的コーピング、他者からの否定的な社会的反応と関連しています
- SANEは、ヘルスケア、サポート、尊敬や尊厳を持って接すること、信じること、被害者が自分をコントロールする手助けをすること、被害者の決定を尊重すること等を通じて、被害者をエンパワーします

やってみましょう

グループワークのシナリオ//  
ワークシート5. 2を参照

身体的、精神的影響シナリオ:

6ヶ月前に性暴力を受けた相談者は、不眠、体重増加、集中困難を経験しています。彼女は骨盤の周期的な痛みも抱えています。医者は身体的要因を見つけられません



## パートナー、家族、親しい友人への影響

- ・二次的もしくは間接的な被害者です
- ・しばしば被害者と同じような初期症状や長期にわたる症状に苦しみます
- ・PTSDに苦しむかもしれません
- ・被害者をサポートするのに困難を感じるかもしれません
- ・被害者との関係に支障をきたします

## 個人的な要因

- ・性と性的指向
- ・年齢
- ・障害
- ・人種
- ・文化
- ・難民や移民の立場
- ・過去の被害経験

暴行に対して個人それぞれの反応は異なることを覚えておきましょう

## 復習

- ・性被害の身体的、精神的影響について述べる
- ・性被害がパートナーや家族、親しい友人たちに与える影響について述べる

モジュール5の最後に 質問やご意見は？





Training  
by Request

An OVC Program

Module 6  
Campus Sexual Assault

モジュール6

キャンパスに  
おける性暴力



**OVC TTAC**  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

## Learning Objectives

- Cite key statistics on campus sexual assault.
- Describe the laws that apply to sexual assault on campus.
- Identify resources available to victims of campus sexual assault.

## Victims of Campus Sexual Assault

- According to the Campus Sexual Assault Study:  
13.7% of undergraduate women have been victims of at least one completed sexual assault.
- 4.7% were victims of physically forced sexual assault.
- 7.8% were sexually assaulted when incapacitated after voluntarily consuming drugs/alcohol.
- 0.6% were sexually assaulted when incapacitated after given drugs/alcohol without their knowledge

# Physically Forced Sexual Assault Factors

- Number of sexual partners
- Previously threatened/hurt by dating partner
- Length of time in college
- Years in college





# Incapacitated Sexual Assault Factors

- Voluntary substance abuse
- Substance abuse without knowledge/consent
- Previously threatened/hurt by dating partner
- Length of time in college



# Primary Laws

1. Title IX
2. Clery Act
3. VAWA Amendments (commonly referred to as Campus SaVE)



## Title IX

- Civil rights statute.
- Applies to all schools who participate in federal financial aid programs.
- Provides for fairness in education.
- Enforced by the U.S. Department of Education, Office for Civil Rights.
- Retaliation is strictly prohibited.

## Title IX Basic Requirements

- Publish a notice of nondiscrimination.
- Designate an employee to coordinate Title IX compliance.
- Adopt and publish grievance procedures.

## Clery Act

- The Jeanne Clery Disclosure of Campus Security and Campus Crime Statistics Act requires schools to maintain and disclose campus crime statistics and security information.
- Applies to all schools who participate in federal financial aid programs.
- Enforced by the U.S. Department of Education.

## Clery Act Basic Requirements

- Maintain crime statistics.
- Maintain a public log of all crimes reported to them, or those of which they are made aware.

## VAWA Amendments (Campus SaVE)

- Part of the reauthorization of Violence Against Women Act/Amended the Clery Act.
- SaVE requires that incidents of domestic violence, dating violence, sexual assault, and stalking be disclosed in annual campus crime statistic reports.
- Students or employees reporting victimization will be provided with their written rights.

## VAWA Amendments (Campus SaVE), continued

- Requires institutional disciplinary procedures covering domestic violence, dating violence, sexual assault, and stalking.
- Education programs.



## Title IX, Campus Obligations, and Local Law Enforcement

- It is not sufficient that the local police investigate the sexual assault; a school's Title IX obligations are different.
- Title IX does not usually require schools to notify local law enforcement; generally, reporting is up to the victim.
- If the police determine that there is insufficient evidence to proceed criminally, a school may still find an accused student responsible.”
- Local police may ask the victim's school to wait on the Title IX investigation for 7–10 days.

## Task Force to Protect Students from Sexual Assault

- Provides colleges and universities with recommendations for preventing and responding to sexual assault.
- Identifies efforts to hold educational institutions accountable for addressing sexual assault on campus.
- Offers guidance to educational institutions on how to combat campus sexual assault and improve compliance with Title IX.

## Task Force Recommendations

- Identify the problem using climate surveys.
- Implement preventive programs and strategies; research new ideas and solutions.
- Implement effective response programs.
- Increase transparency and improve enforcement.

## Confidentiality

- Task Force report recommends honoring victim confidentiality.
- Title IX and Clery Act may impose investigatory and reporting obligations that may conflict with a victim's request.
- Schools are advised to honor confidentiality requests while not compromising investigations –a balance that may be difficult to maintain.

## *Activity*

### *Campus Sexual Assault Case Studies Worksheet 6.1*

#### *#1: The Perpetrator Leaves School*

- Working in groups, read Case Study #1.
- Discuss and answers questions on the worksheet.
- Discuss with the large group.

## *Activity*

1. Is this incident considered sexual harassment under Title IX?
2. If the perpetrator already withdrew, isn't that enough?
3. Is the taunting by classmates considered sexual harassment as defined by Title IX?

## *Activity*

4. Does Title IX permit the victim to receive accommodations? What accommodations might the victim need?
5. What written information, if any, should the school be providing to the victim?
6. Should this be disclosed in the annual crime statistics under the Clery Act?

## *Activity*

### *Campus Sexual Assault Case Studies*

#### Worksheet 6.1

#### #2: Full Hearing

- Working in groups, read Case Study #2.
- Discuss and answers questions on the worksheet.
- Discuss with the large group.



## *Activity*

1. What is the disciplinary process?
2. Where can I find the disciplinary process explained?
3. In a disciplinary process, what is the panel trying to decide?

# Resources for Campus Sexual Assault

What can advocates do to help campus sexual assault victims?

- Provide resources following the assault.
- Negotiate with the school for/with the victim.
- Provide advocacy during a disciplinary process.
- Help the victim file a Title IX complaint.
- Provide support and resources if the victim wants to report to law enforcement.
- Help the victim navigate the process.

## Resources for Campus Sexual Assault, continued

What resources are available on campus?

- Advocacy
- Medical
- Mental health
- Academic counseling
- Accommodations/interim measures for victims to be safe
- Title IX Coordinator

## Resources for Campus Sexual Assault, continued

- What resources are available off campus?
  - Sexual Assault Nurse Examiner (SANE)
  - Local rape crisis center
  - Hospital visit

## Resources for Campus Sexual Assault, continued

Do you have a relationship with the off-campus resources?

- Can they offer training to campus administrators?
- Are they part of a Sexual Assault Response Team (SART)
- Are their services known and accessible to students?

## Review of Learning Objectives

- Cite key statistics on campus sexual assault.
- Describe the laws that apply to sexual assault on campus.
- Identify resources available to victims of campus sexual assault.

モジュール6の最後に 質問やご意見は？





# Training by Request

An OVC Program

## Module 7 Effects of Sexual Assault on Males

モジュール7

男性に対する  
性暴力の影響





# 学習目標

- 男性への性暴力に関する神話と事実を見分ける
- ジェンダーの社会化について論じる
- 男性への性的暴力の影響について述べる
- 性暴力の被害に遭った男性をどう支援するかを論じる

やってみましょう

男性への性的暴力について  
何を知っていますか？

- スライドを読んで下さい
- 書いてあることが神話か事実か判断して下さい
- 神話だと思ったら手をあげて下さい

## 神話それとも事実？

- 暴力を受けたときに性的に興奮するなら、彼はそれを望んでいるか、または楽しんでいる

# 事実

彼は注目されることにより、性的興奮を感じる人かもしれないし、性的コンタクトが好きな人かもしれませんが。だからといって彼が暴力を受けることを望んだり、好きだというわけではありません

神話それとも事実？

女性の場合より、男性への性暴力の方が被害は少ない

# 事実

性暴力のありようは、男性と女性では似た点もあれば違いもあります。しかし両方とも同じように傷つきます。

## 神話それとも事実？

女性が男性に暴力を振るったら、振るわれた男性はラッキーだった！もし彼がそんな風を感じないなら、彼はどこかおかしい

# 事実

少女も女性も少年や男性に性暴力を振るえるし、振るいます。女性から男性が性暴力を受けることは“ラッキー”ではありません。それは搾取であり、有害です

特に成人男性に比べて大人の女性に巧みに扱われやすく、影響を受けやすい少年にとっては



神話それとも事実？

少年に性暴力を振るう男性はほとんどゲイだ

# 事実

男性/少年は、ストレート、ゲイ、あるいはバイセクシャルの男性から性暴力を受けます。こうした行為を行う人のほとんどはストレート/異性愛者です。性暴力は虐待者の性的指向とは関係がありません

## 神話それとも事実？

男性に性暴力を受ける男性は、彼らがゲイであるか、  
ゲイに見えることでその暴行を引き寄せたに違いない。  
あるいは性暴力の結果、ゲイになる

# 事実

ゲイ、ストレート、そしてバイセクシャルであれ、彼らの性的指向は性的暴力の原因でも結果でもありません

性暴力の性的側面より暴力性に焦点をあてるなら、性暴力が加害男性の性的指向とは関係がないことがよく分かります

# ジェンダーの社会化

- 生物学的性別に関連して社会的期待や態度を学習するプロセス
- 情緒面での影響や、男性の反応の仕方、女性の反応の仕方をかたちづくる
- 生まれるやいなや始まり、生涯を通じて続く



# 男性の生物学的特性と感情

- 幼児の場合、男性は女性より感情的反応、感情表出が多い
- びっくりしやすい
- すぐに興奮する
- 欲求不満耐性が低い
- ぐずりやすい
- すぐに泣くし、よく泣く



# ジェンダーの社会化による感情制御

小学校の半ばまでに、少年たちは:

- 気づかなくなり
- 表現しなくなり
- 他者や自分自身に対して、より共感的でなくなる



# ジェンダーの社会化はどこからくるのか

男性と女性は異なる経験と振る舞いによって感情の調整がされる

- 彼らの感情に親がどう反応するか
- 仲間の反応や、遊び方
- 教師やコーチの反応
- メディアのメッセージやロールモデル



# 男らしくない態度は非難される

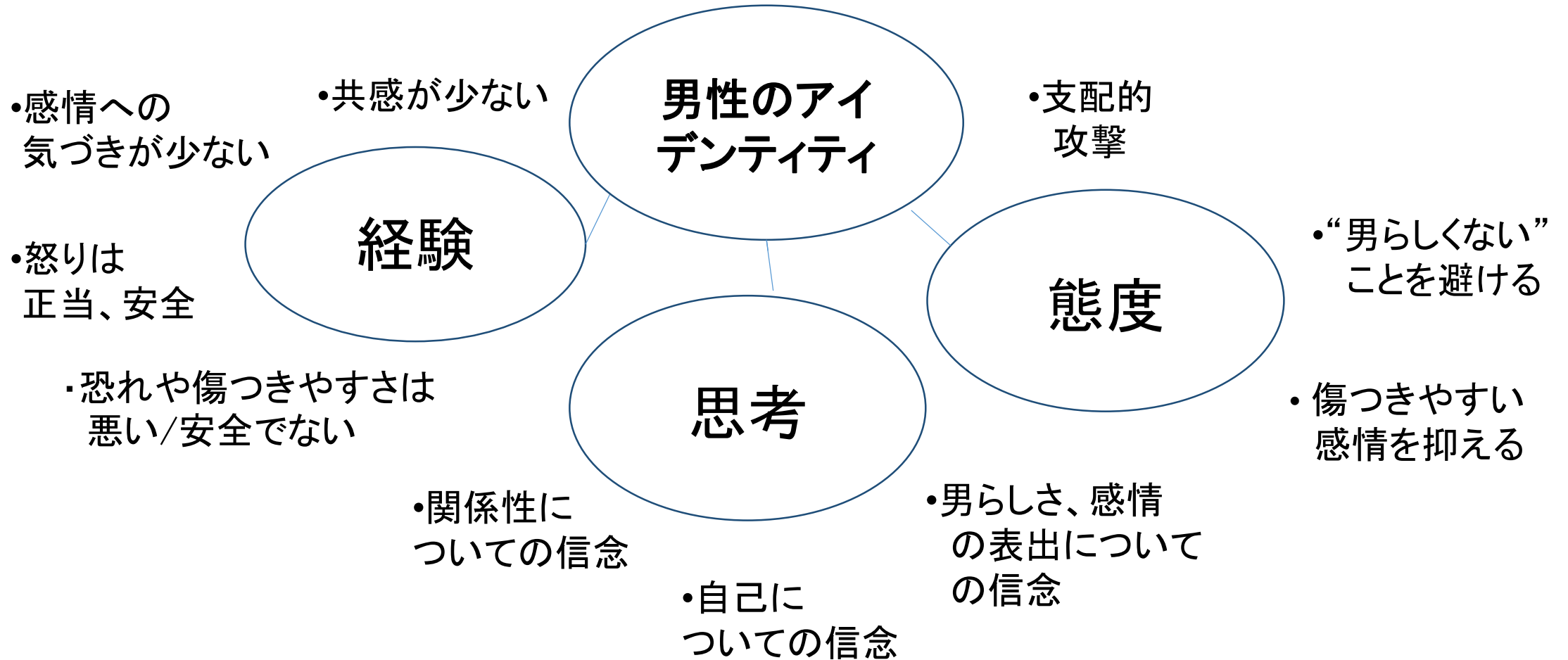
- 男らしくふるまえ
- 男らしく！
- ゲイっぽくするな
- 男の子は泣かない！
- そんな弱虫でどうする
- 女の子みたいだぞ



## モラルとジェンダー・アイデンティティ

- 価値観：(社会的に)良いと思われる自分のありかた
- (社会的価値観に沿って)自分自身を評価してきた：
  - あるべき自分にどのくらい近いのか、離れているか
  - 理想的な自己に向かっているか、遠ざかっているか
- ジェンダーはその人のアイデンティティにとってモラルの問題であり、基盤であると言われてきた

# 男性アイデンティティ：感情と価値



# 男性アイデンティティ

- 思考と信念は重要ですが、核となるものではありません
- 男性個人の考えや選択より、(社会的価値観で)調整されたものの方が深く影響しています
- それが脳の中で結合、再結合します
- 感情の気づきや、表出が減り、  
共感も減ります = 脳機能のパターン化



# 性暴力は男性アイデンティティを根底から覆す

- もはや強いとかしっかきしていると思えない
- 生まれてからずっと染み込んでいた男性アイデンティティが崩れ去る
- ひどく傷ついた感情をどう扱ってよいか分からない



# 男性はなぜ性暴力を通報しないのか

- 社会的価値観が邪魔をする
- 弱い、もしくは“本物の男じゃない”と判断する
- (支援があるという)社会的認識の欠如
- 支援が必要だと思わず、探すこともしない
- 感情を語り合ったり、分ち合うことをしない

## 3つの主題

性暴力を受けた男性はしばしば共通して次の3つについて尋ねたり、コメントしたりします

- 正当性      男が性被害にあう筈がない
- 男らしさ    男らしさを失ったのか
- 同性愛      性的指向の混乱

やってみましょう

男性への性暴力に関するテーマと信念  
ワークシート7.1を参照

- 各自がそれぞれの事例について考えたことを話して下さい
- 全体に発表して下さい



## 通報の少なさ

- 男性には、通報するという認識が女性より行き渡っていません
- 通報の少なさは、男性にとって有益な情報が少ないことを意味しています

## 通報の少なさ

現在ある情報はしばしば:

- 同性愛嫌悪とセクシズム(性差別)について言及していません
- 男性のジェンダー役割についてのステレオタイプの考え方に挑戦できていません
- ゲイ、もしくはトランスジェンダーの被害者に特有のニーズについてほとんど認識していません

## 強いられた選択

### 選択A: 過度に男らしい

“本物の男”。不安と恐怖がこの選択をさせます

### 選択B: 男らしくない

男らしさのアイデンティティを奪われています  
失敗、敗北、うつ、士気喪失といった感覚に  
特徴づけられます

### 選択C: 健康な男らしさ

男らしさの規範に挑戦し、ステレオタイプで  
なく肯定的な自分自身のアイデンティティを  
作り出します

# 支援を提供する

**選択A: 過度に男らしい**

**選択B: 男らしくない**

- 意識的でないにせよ、性暴力が彼にどのように選択を強いたかを知らせます
- 他の男性たちも同様の反応をしてきたことを説明します
- より肯定的なアイデンティティを育てることができると伝えます
- 他の性暴力の男性サバイバーも被害体験のあと自分自身のアイデンティティを形成してきたことを説明します

## 支援を提供する

### 選択C: 健康な男らしさ

- 彼のどんな質問にも答え、彼の心配がジェンダーの社会化に基づいていることを知らせます
- 彼が自分の経験に向き合い、支援を求めた勇気を認めます
- ここまで来れたのは彼自身の強さによることを認めます

## 支援を提供する

- 振り返りを促し、教えられてきたことと、体験で感じたことを整理します
- 多くの疑問や心配が、男性と性暴力に関する神話に基づいていることを指摘します
- 事実に基づいた情報を提供します
- 被害者自身にこの(事実に基づいた)情報を分別してもらいます
- (どんな支援が必要かの)サインを被害者から受け取ります

## 男性サバイバーと話し合う話題

- 他者からの否定的な反応
- 性的な側面だけではなく、暴力の全体像
- 人間関係への影響
- 社会的条件付け
- 感じること、欲することをよしとする
- セクシュアリティの問題

## 否定的な感情

- 苦悩と抑うつ
- 自己治療
- 怒りと敵意
- 社会的接触を避ける
- PTSDの一形態
- 混乱
- 性の不安や機能不全



## 紹介先

- 有益だと思えるなら、セラピーを薦めます
- 個人セラピーが初期の治療として最も適していることが時としてあります
- グループセラピーは回復や変化をもたらすのにしばしば最適です



## 注意：アイデンティティのレッテル貼りは害になりうる

- アイデンティティのレッテル貼りは人を制限してしまう
- これらの経験をした男性はかれら自身の言葉を見つけることで支援されるはずです
- アイデンティティのレッテル貼りを避けて、個人優先の言葉を使います。例えば、“ある経験をした人”というように

## 男性アドボケイト 対 女性アドボケイト

- 男性より女性アドボケイトを安全だと感じる男性もいるでしょう
- ジェンダーの社会化により男性は女性からの支援と慰めを求めるように条件付けられているかもしれません
- 伝統的な男らしさの価値観がしばしば男性が助けを求める妨げになります

# 男性アドボケイト 対 女性アドボケイト

あなたの施設とそのスタッフに確認しましょう

- 男性を受け入れること
- 男性に特化した性暴力に関する情報をもつこと
- 男性と女性の性暴力の違いについて理解すること

## 復習

- 男性への性暴力に関する神話と事実を見分ける
- ジェンダーの社会化について論じる
- 男性への性暴力の影響について述べる
- 性暴力の被害を受けた男性をどう支援するか論じる

モジュール7の最後に 質問やコメントは？





# Training by Request

An **OVC** Program

## Module 8 Procedures in Common Advocacy Situations

モジュール8

アドボカシー  
における一般  
的な手順



**OVC**TTAC  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

## 学習目標

- 起きたばかりの性暴力被害についてホットラインに相談してきた被害者への適切な対応をする
- 法医学的証拠検査の正しい手順を知る
- 警察への付き添いや裁判所への付き添いについて「すべきこと、すべきでないこと」のリストを作る
- SARTのアドボケイト、SANE、その他のメンバー相互の役割の違いを明確にする
- 薬物が関与する性暴力を扱う際の特別な手順や留意事項 (red flags) を明らかにする



## クライシスコールへの対応

- 被害者の目下の心配事を明確にする
- 安全を確保する
- サービスについて説明する
- 移動手段を手配する

## クライシスコールへの対応～続き

- 証拠について話し合う
- 実際的な問題を話す
- 会う時間を決める
- 他の対応者を決めておく

## 法医学的検査の時間枠

72、96、120時間(あるいはそれ以上、アドボケイトはその地域の方針について知っておく)

例外としては;

- 人質になっていた場合
- 暴行によるケガがある場合
- 射精後、洗浄していない場合

## 法医学的検査：するか、しないか

- シャロンは12時間前に起きた性暴力を通報してきた。挿入、もしくは明らかなケガはなかった
- ジェインは24時間前に起きた口腔への性暴力について通報してきた



## 法医学的検査： するか、しないか

- トーマスは5時間前に起きたレイプおよび強盗を通報してきた
- マリアは2週間前に起きた見知らぬ2人によるレイプを通報してきた



やってみましょう

法医学的検査のケーススタディ  
ワークシート8-1を参照

- 各グループでシートを読み、話し合ってください。それから質問に答えてください
- 全体にその発表を行ってください

# サポートにつなげる

被害者の要請がなくても自動的に、アドボケイト、そして可能であるならSANEが救急外来に呼ばれるべきです

## アドボケイトとSANE

- アドボケイトとSANEは危機介入においては同じことを行うかもしれませんが、それぞれの役割は違っています
- アドボケイトとSANEはお互いを補完しあいます。被害者はその両方から同じことを聞きます  
(例えば「それはあなたの責任ではありません」「あなたの反応は正常です」というような)それは被害者の反応を正常化する助けとなります
- アドボケイトは証拠の収集には関与しません



## 救急外来での対応の遅れに対処する

- たとえSANEプログラムがある場合でも、1時間までの遅れは普通です
- 被害者がSANEの到着を待つようなら、SANEの役割について説明するとよいかもしれません
- いつも説明なく遅れがある場合、救急処置室、またはSANEの責任者と話の出来る上司に報告しましょう

## 対立や問題に対処する

SARTのいかなる問題に対しても自分で“直そう”としてはいけません。どんな問題もスーパーバイザーに報告します

## 警察への付き添い

- アドボケイトは被害者を支援するためにそこにいます
- アドボケイトは事情聴取の間は口を差し挟んではいけません。事情聴取が終わった後、被害者の証言以外のこと(被害者に対する警察の配慮や発言など)で気になる点を警察に伝えることができます
- 警察はチームの一員です
- 被害者が事実のみを語ることは大事なことです

## 警察への付き添い

- 警察官は事実を明確にするために質問します
- 記録の仕方は地域により異なります
- 陳述は通常書き起こされます<sup>8-13</sup>
- 被害者は記録に目を通して署名します。これは性暴力についての正式な届け出になります



## 調書作成時に心配がある場合

- 事情聴取を妨げてはいけません
- 調書作成が終わるまで、どんな質問やコメントも差し控えます
- 心配な点については警察官にだけ聞きます
- 被害者が調書に関して思うことを自分の言葉で言えるよう、被害者と対話をします

## 裁判所への付き添い

- アドボケイトは裁判所と同様、弁護士との面談にも付き添えます
- 付き添いの目的は、被害者が裁判のことやその手続きについてきちんと知るようになることです
- 多くの検察官は、裁判にむけてのさまざまな選択肢について被害者と話し合います
- 司法取引となった場合、被害者が自分の意見を言えるように働きかけます



## 刑事手続きにおけるサポート

検察官が起訴しないと決めた場合:

- 被害者ととともに検察官のオフィスを訪ね、なぜそうなるのか話し合います

加害者が裁判で有罪とみなされる場合:

- 被害者は判決の際にアドボケイトが裁判所へ同行し、サポートしてくれることを希望するかもしれません
- 被害者の陳述は裁判官が判決を出す際に考慮されます

# やってみましょう

してよいこと、いけないこと

- 警察への付き添い、および裁判所への付き添いに関して、してよいこと、いけないことをグループごとに1分間のプレゼンを作ってください
- 全体に発表してください



# やってみましょう

情報探しと “Red Flags (留意事項)”  
ワークシート8.2を参照

- マニュアルを使って、小グループでワークシートを完成させます
- 薬物が絡んだ性暴力を示しているものを留意事項の欄に書いてください
- 全体で振り返りをします



## 復習

- 起きたばかりの性暴力被害についてホットラインに相談してきた被害者に適切な対応をする
- 法医学的証拠検査の正しい手順を知る
- 警察への付き添いや裁判所への付き添いについて「すべきこと、すべきでないこと」のリストを作る
- SARTのアドボケイト、SANE、その他のメンバー相互の役割の違いを明確にする
- 薬物が関与する性暴力を扱う際の特別な手順や留意事項 (red flags) を明らかにする

モジュール 8 の最後に 質問やコメントは？





Training  
by Request

An OVC Program

Module 9  
Recovery Education and  
Skills Training

モジュール 9

回復のための  
教育とスキル  
トレーニング



**OVC TTAC**  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

# 学習目標

危機介入、教育、そして支持的カウンセリングのスキルを、性暴力被害者の支援に役立てる

# 回復のための教育と技法のトレーニング

- 危機介入
- 教育
- 支持的カウンセリング
- スキルトレーニング

# 危機介入

- ・過度に感情的にならないようにするための心理的応急処置です
- ・解決でなく、適切な対応が求められます
- ・電話、あるいは対面で行います



## 以下のようなことができます

- ・サバイバーが支援を必要とするとき、どんな形でも支援する
- ・トラウマに対する反応は当然であると被害者に伝える
- ・被害者にとって何が一番優先されるべきかを確認し、気になることへの解決に向けて助けを出す
- ・敬意をもって接せられることを保証する
- ・サバイバーにとって大切な人をサポートする
- ・危機教育、紹介、フォローアップを提供する



いつはじめるか？

危機介入は、できるだけ早い時期、性暴力被害から数時間以内に始めるのが望ましい

## 非難しない

- ・被害者は他人から責められることに特に敏感になっている可能性があります
- ・非難、あるいは責める様子を見せないようにします
- ・自分を責める被害者は、そうでない人と比べて落ち込みやすく、レイプ後の回復が芳しくない傾向があります

## 肯定的な発言

- ・回復は起こります
- ・だんだんよくなります

他にありますか？

やってみましょう

ブレインストーム

危機状況下の主な心配ごとについて

## 緊急の課題

- 警察に届けるかどうか
- 被害者自身のアルコールや薬物の使用について
- 強要された性行為を「レイプ」とみなす心の準備が被害者にできているかどうか
- 目下の安全に対する恐怖の有無
- 誰に伝えるのか、どのように伝えるか
- 守秘義務に関すること

## 緊急の課題(続き)

- 検査後にどこに行くか
- 証拠採取の検査を受けるかどうか
- メディアに巻き込まれることへの恐怖の有無
- 自殺願望の有無
- 性感染症(STI)やエイズ(HIV)に感染することへの恐怖
- レイプで妊娠してしまうことへの恐怖
- 恥、自責感、困惑感

# 支持的な関係には 次のような特徴があります



- 受容
- 共感
- 支持

「受容」はこのように伝わります

非言語的な形で:

- 穏やかな顔の表情を保つ
- うなづく
- 被害者の方に体を向ける
- 被害者の手や肩に軽く手をおく



「受容」はこのように伝わります

言葉を使って:

- ・被害者が話したことを繰り返します
- ・被害者が使ったことばを使います
- ・感情の表出を認め、促します

「受容」はこのように伝わります

あなたの行動で:

- ・傾聴します
- ・時間をかけて被害者のそばにいるようにし、被害者自身のペースで進めます

「共感」はこのように伝わります

- ・あなたが被害者の視点に立って状況を理解したいと思っていると伝えます
- ・被害者が自分の言葉で表現している感情を、そのまま返します

## 「支持」はこのように表します

- ・食べ物や飲み物を勧めます
- ・レイプは彼・彼女の過ちではないと改めて確認します
- ・したことは何であれ正しい、なぜならあなたは生きのびたのだから、と改めて確認します

## 「支持」はこのように表します

- ・被害者が無事に家に帰れるよう手立てを確認します
- ・現実的な問題や、差し迫って必要なことに対処できるよう、被害者に情報や資源を提供します

## レイプの脱スティグマ化

- ・レイプは犯罪行為であるという見方を勧めます。
- ・有責性(誰の責任なのか)と脆弱性(弱さ)を分けて考えます

## 被害者の反応を正当化する

- ・被害者が感じるかもしれないことについて、情報提供します
- ・被害後の典型的な反応について、それが起こる前に話題にします
- ・どんな気持ちになっても、同じように感じる被害者は多いので、あなただけではない、と伝えます

## 「回避」を認識する

- ・レイプについて話さない、というような、回避のコーピングがあることを伝えます
- ・様々な思いや恐怖、不安と向き合う苦痛なプロセスがなぜ必要なのか、被害者が理解できるよう援助します
- ・無視し続けても、記憶は戻ってきます



## 被害者が語ること

- ・被害者にとって、トラウマティックな出来事を詳細に語ることは重要です。アドボケイトの反応も同じくらい重要です
- ・レイプは被害者に対する犯罪行為であることを知ってもらうことが重要です

## 支持的カウンセリング

- 危機対応の手法です。何に対する危機対応かを見分け、それぞれの緊急対応がその人やニーズによって異なることに留意します
- 敬意をもって被害者の話を聴きます
- 被害者の現実的なニーズに合わせてます
- 被害者の味方であるという姿勢で向き合います

## 実務で気にかけるべきこと

- ・衣服が証拠とされる場合は、証拠採取検査が終わったあと着て帰る衣服を用意します
- ・レイプ検査の後でシャワーや身支度を整えることができるようにします
- ・警察における届出のプロセスを説明します。何が含まれているか、何を意味するのか、など
- ・保護命令を出してもらいます

## 実務で気にかけるべきこと(続き)

- ・滞在できる安全な場所を確保します
- ・被害者の部屋のドアのカギを換えます
- ・クレジットカード会社や銀行に盗難がないか確かめます
- ・食料や住居のための緊急一時金を用意します
- ・被害者の子ども達の居場所を確認するか、連れてきます
- ・ペットの居場所と、餌が与えられているかを確認します

## 実務で気にかけるべきこと（続き）

- ・子どもの世話をしてくれる先を見つけるか、提供します
- ・刑事手続きや心配ごとに対応します
- ・家あるいは約束した場所への移動手段を整えます
- ・連絡先を確保します
- ・フォローアップのために、適切な医療機関や地域の機関を紹介します
- ・メディア対応を行います

# 被害者に知っておいてほしいのは...

一人でないこと

いつ、だれに助けを  
求めたらよいのか



# アドボケイトの役割を説明する

被害者はしばしば、最初に対応してくれた人に対して、特別な思いを抱きがちです

# やってみましょう

## ロールプレイ — ケンドラとローラ

### ワークシート9.1を参照

- ・二人一組になって、ケンドラの台本をロールプレイしてみましよう。アドボケイト役の人は受容、共感と支持を表すようにしなければなりません
- ・お互いの役割を交代し、両方の役をしてください
- ・ローラの台本も同じようにしてください



## いつ外部に機関に委ねるか

- ・被害者がさらに専門的な深いカウンセリングを必要とするかもしれない兆候に留意します
- ・サバイバーを外部機関に紹介するのは、強さのしるしであり、弱さの象徴ではありません

## 外部機関への紹介は被害者が このようなときに行われる

- ・自殺の可能性があるとき
- ・精神疾患の疑いがあるとき
- ・数日以上にわたって職業上の、あるいは社会的な役割を果たすことができないとき
- ・強固な恐怖症状を示すとき
- ・物質乱用の可能性があるとき
- ・長期的問題の解決に興味を示すとき

# 自殺のリスク

S = Statement

自殺の意図を述べている

L = Lethal 致死的である

A = Access 手段がある

P = Plan 計画的である

## 精神症状の確認

- “お名前は？”
- “あなたは今どこにいるかわかりますか？”
- “今、何時ですか？ 今日は何曜日ですか？ 今日は何月何日ですか？”

## 物質乱用に関すること

- ・性暴力に薬物やアルコールが関わっている
- ・被害者が物質乱用状態でカウンセリングに来る
- ・被害者が他の薬物の使用を報告している
- ・被害者が自分の薬物使用に関して心配している
- ・友人あるいは家族が自分たちの薬物使用を心配している、と被害者が報告している

## アドボケイトが助けを求めるとき

- ・被害の状況が自分の場合とあまりに似ているとき
- ・被害者や被害者の家族と対立するとき
- ・被害者のニーズが自分の能力のレベルを超えているとき
- ・健全な境界を維持するのが難しいとき

## 復習

危機介入、教育、そして支持的カウンセリングのスキルを、性暴力被害者の支援に役立てる

モジュール9の最後に 質問やご意見は？







# Training by Request

An OVC Program

## Module 10 Compassion Fatigue and Self-Care

Module 10

共感疲労と  
セルフケア



## 学習目標

- 健全な境界線を侵害する行動や態度を明らかにする
- 共感疲労を予防するための個々のセルフケアプランを作成する

# 共感疲労

- ・アドボケイトはサバイバーが回復するのを助ける間に多くのトラウマ(傷)を受けます
- ・こうした仕事は意義があり報われることも多いです

## アドボケイトとしてのサバイバー

- しばしば被害者の心配や恐怖に敏感になり、彼らのニーズに圧倒されてしまいそうになります
- 支援システムに前向きな経験、あるいはがっかりした経験があるかもしれません
- 自身が回復し続けることを求めるかもしれません
- より大きな共感を持ったり持たなかったりするでしょう
- 傷が再び開いてしまうかもしれません

## 共感疲労

“…日常生活のストレスや緊張に加えて、支援する立場で働くとき、トラウマティックな物語や出来事にさらされることで累積する身体的、感情的、精神的な影響である”

American Bar Association 2014

## 代理トラウマ

代理トラウマは、自己に対する信念や安全、信頼あるいはコントロールといった世界観に起こる認識の変化である

例えば、おそろしい出来事について聞くことは、もしかしたら人間性についての信頼や信念を揺るがすかもしれない

Newell and Macneil 2010

## 二次的外傷性ストレス

二次的外傷性ストレス(STS)は、共感的な関係を通じて他者のトラウマを目撃する事で生じ、しばしば結果として不安や侵入的な思考をもたらす

しかしながら、STSはサバイバーとのストレスフルで時にトラウマになりうるような仕事に対する正常な反応である

STSは独立して、あるいは代理トラウマと一緒に起こるかもしれない

Newell and Macneil 2010

Rosebloom, Pratt, and Pearlman 1995

## もえつき(バーンアウト)

バーンアウトとは、弱っていたり、苦しんでいる人々に長期的にさらされることで起こる身体的、感情的、精神的あるいはスピリチュアルな枯渇である

バーンアウトは、感情的な枯渇や、個性を失い、シニカルになったり超然とすることも含む  
同様に個人の達成感の減少も含む

Newell and MacNeil 2010



# アドボケイトに影響する状態

状態	誰が影響されるか	さらされること
共感疲労	トラウマ・サバイバーを支援する人	トラウマティックな話に多くさらされることで進行する
代理トラウマ	トラウマ・サバイバーを支援する人	一つあるいはそれ以上の事例にさらされることで進行するかもしれない
二次的外傷性ストレス(STS)	トラウマ・サバイバーを支援する人	一つあるいはそれ以上の事例にさらされることで進行するかもしれない
バーンアウト	ストレスフルな活動環境にあるあらゆる人	時とともに進行する

## 枠組みに起こる崩壊

- ・自分が誰であるかの感覚の崩壊を経験しがち
- ・世界観の崩壊
- ・スピリチュアリティのゆらぎ
- ・性的トラウマティックなイメージの侵入

## 自己能力に起こる崩壊

- 感情の遮断
- 社会的な活動、かかわりの拒否
- セルフケアの習慣の崩れ

## 自我の資源に起こる崩壊

- ・自身の心理的ニーズと対人関係を調整する能力の崩壊

## サバイバーを支援する対価

- 共感、希望をもってサバイバーに向き合うことが徐々に難しくなります
- 支援者とスーパーバイザーはこういった可能性に気づいて初期症状を把握します
- サバイバーとつながりを保ち、そしてより広い文脈を意識しつづけることによって、自分自身を守ります

## 共感疲労の対価

支援者はしばしば、疲れ切った、うちのめされた、あるいは被害者とつながりがもてない、などの感覚について話すことは受け入れがたい、という文化の中で活動しています

自分の仕事からどのような影響を受けているのか、そして自身のケアをいかに優先するかについて注意を払いましょう

やってみましょう

境界線のチェックリスト  
ワークシート10.1を参照

## セルフケアのための工夫

- ・自分自身のエネルギーを補充するように努めます
- ・自分を思いやります
- ・レベルを低くしてもアドボカシーを続けるか、それともそこを去るのか、どちらかです
- ・自分がどの程度良好に機能しているかに注意を払います
- ・スーパーバイザーと話をします



## スーパーバイザーに相談する

- 困難な、新しい、あるいは普通でないケース
- 代理トラウマを含むケース
- 境界線の問題があるケース
- 被害者と頻繁に会うようなケース

やってみましょう

セルフケア プラン

ワークシート10.2を参照

## 復習

- ・健全な境界線を侵害する行動や態度を明らかにする
- ・共感疲労を予防するための個々のセルフケアプランを作成する

モジュール10の最後に 質問やコメントは？





Training  
by Request

An OVC Program

Module 11  
Wrap-Up and Evaluation

モジュール11

総括と評価



**OVC**TTAC  
OFFICE FOR VICTIMS OF CRIME Training and Technical Assistance Center

## 学習目標

あなたがアドボカシーをするときの助けになる自分用の  
チェックリストを作成する

やってみましょう

## 性暴力の被害者を支援する際のチェックリスト

ワークシート11.1を参照

ワークシート、マニュアル、ノートを使って  
あなたの仕事に持ちかえられるような自分用の  
チェックリストを作成してください

# 評 価



最後までお読みいただき、  
ありがとうございました